

いつか 必ず きっと

人間関係を考える学年集会を行いました。「あなたとわたし」

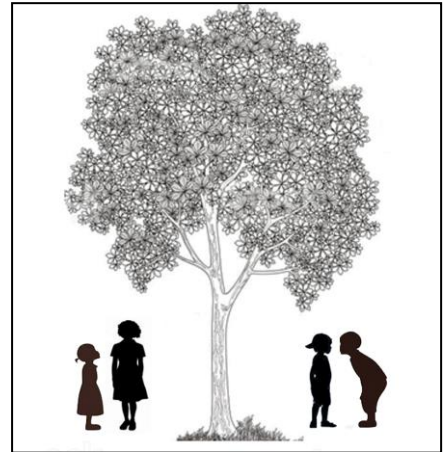
6月23日(火)の5校時に、学年で人間関係を考える集会を行いました。誰もが知っている大きな栗の木の下での歌詞「あなたとわたし」を「わたしとあなた」に変えたらどんな印象になるか。そんなことを考えることからスタートした集会でした。

クラスをそして学年を素晴らしい場所にしていくために、何を心がけてもらいたいのかというと簡単です。大きな栗の木の下での歌詞を常に意識してください。「あなたとわたしなかよくあそびましょ」これです。

人間関係は、一方通行では絶対にうまくはいきません。一方通行とは、「わたしの気持ちあつてのあなた」という考え方です。こういう考え方で人と接していると、いつの間にか、わたしの上にヒトをつくり、わたしの下にヒトをつくることになってしまうのです。上の者に対しては、嫌われないように偽りの自分を演じ、逆に、目をつけられないように目立たないようにしたりして過ごす。そのストレスを下の者にぶつける。つねに、自分の気持ちを優先させる一方的な人間関係になるのです。そして、自分を偽って好かれようとしたりすることは、本当の自分ではないので、本当の友達にはできないのです。こんな生活をしていたら、心がくたくたにくたびれてしまいます。

「あなたとわたし」という考え方で人と接している人は、まずは、自分が相手を同じ目線で理解しようとしします。その思いが伝わって、あなたも私に答えてくれるのです。つまり、こだまのように響き合う人間関係をつくることのできるのです。こだまのように響き合う人間関係の原点はあいさつです。

自分から率先して行うあいさつには、「おはよう」の言葉に「大切なあなたを見つけたよ」という意味があるのです。それに対して返ってくる「おはよう」には、わたしに気づいてくれてありがとうという意味があるのです。だから、目を見てされるあいさつは嬉しいのです。遠くからあいさつされたり、自分の後ろからあいさつされると嬉しくなるのです。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の言葉自体には意味はないけれど、その言葉に込められた意味があることを知って、大切なあなたを見つけたことを、あいさつで伝えられる人になってください。きっと、本当の友達が見つかると思います。子供たちの感想を紹介します。



どちらが、「あなたとわたしなかよくあそびましょ」と言っていて、どちらが「わたしとあなたなかよくあそびましょ」と言っているように見えますか？

「号令のかかるあいさつ」

一体感や緊張感を生む

集中力を高めて
聴く準備を整える

号令のかかるあいさつは、みんなで大きな声を出し、語先後礼の動作を合わせることで、聴く準備を整える目的で行います。

待つのではなく、自分からあいさつをしていきたいと思いました。今日の授業で、童謡にも思いが込められていることを知り、感動しました。こだまし合う人間関係をこれから大切にしていきたいと思っています。

[1組 板垣 秋佳里さん]

あいさつは、人間関係を作っていくのにとても大切だということが分かりました。「わたしとあなた」ではなく、「あなたとわたし」で相手と同じ目線で相手の気持ちを理解し、人間関係をより良いものにしていきたいです。

[1組 藤野 菜奈未さん]

あいさつを自分からするときには、大切なあなたを見つけたよという気持ちで言って、あいさつをされたら、ありがとうという気持ちで大きな声であいさつを返したいと思っています。知っている人を見かけたらあいさつをするようにしたいです。

[1組 神山 稀紗奈さん]

「あなたとわたし」「わたしとあなた」たった7文字の言葉でプラスにもマイナスにも受け止め方が変わるのとはとても驚きました。常に、相手の気持ちを考えて行動するようにしたいです。

[1組 片岡 来瞳さん]

これからは、人にあいさつするときには、その人より先に、大きな声であいさつをしたいです。号令がかかってあいさつするときには、精一杯声を出したいです。

[1組 清水 由維さん]

あいさつは、いつ言っても嬉しいものなので、できる限り頑張りたいと思いました。もっとたくさんの人にあいさつができるようにしたいです。

[2組 枝 莉子さん]

人に頼らないような自分の中の全力の声であいさつをしたいです。相手の気持ちを考え、笑顔で明るくあいさつをします。

[2組 河野 結菜さん]

今日の授業の「あなたとわたし」「わたしとあなた」この二つの言葉は順番が違っただけで全く意味が変わってくるなと感じました。これからは「あなた」の気持ちを考えて行動し、先にあいさつすることを心がけようと思いました。

[2組 久保埜 由唯さん]

大きな栗の木の下での「あなたとわたし」を「わたしとあなた」にしたことで、マイナスの印象になるなど、考え方がより一層深まった。これからのあいさつは、元気にどこでもできるようにしたいです。

[2組 半田 拓暉さん]

言葉の順序が変わるだけで、意味が全く変わってくるということが分かりました。これから、あいさつは相手に届くような気持ちのこもった大きな声でしたいなと思いました。小学校ではできなかった大きな声であいさつすることは、中学校で成しとげたいと思います。

[2組 三村 恵里奈さん]

自分は人見知りで、最初、学校が始まったとき全然勇気が出なくて小学校が同じだった子とだけしゃべっていました。先生方が廊下であいさつをしていて、自分も勇気もらえました。あいさつをするとあいさつをしてもらえて、あいさつって大切ななあと思いました。

[3組 山田 瑠菜さん]

人との関係をより良くするためには、相手と同じ目線で理解することが大切なんだなあと思いました。すすんで大声であいさつしたいです。

[3組 松本 和士さん]

やっぱりあいさつは大事だなと思った。人間関係はあまり得意ではないけれど、人の気持ちを考える人になりたいと思いました。

[3組 野村 佳央莉さん]

意外と、あいさつをすると相手も嬉しいし、自分も嬉しいから、毎日元気にあいさつをしたいです。

[3組 菅野 零士さん]

「あなたとわたし」の言葉の順序が変わるだけで、意味が大きく変わってしまうことに驚きました。これからは、誰とでも同じ目線に立って話をできるようにしたいと思いました。また、あいさつは自分から進んで気持ちを込めてできるようにしたいです。

[3組 石井 里和さん]

「おはようございます」「こんにちは」に、こんなにも深い意味があったなんて知りませんでした。これからは、声を張り上げてあいさつしていきたいと思います。

[4組 山口 葵生さん]

号令がかかるあいさつは、大切な話を聴く準備を整えるために全力で大きな声を出す。あいさつは学校内だけでなく、地域でも大きな声でできるようにしたい。

[4組 笹沼 侑真さん]

あいさつには集中力を高めたり、聴く準備を整えるなどいろいろな意味が込められているのだと思いました。これからあいさつをするときは、相手からではなく自分からすることを意識していきたいと思います。

[4組 戸室 七海さん]

もっともっと自分からあいさつをして、あいさつがNo1のクラスにしたいです。気持ちよくはっきりとした声でのあいさつを心がけ、相手も自分も気持ちよくなれるようなあいさつをしたいと思いました。

[4組 田中 美央さん]

人に向けるあいさつと号令のかかるあいさつとではじめをつけていなかったの、これから気を付けていきたいと思いました。号令のかかるあいさつでは、全力で声を出していきたいです。人に向けるあいさつでは、自分からできるように心がけていきたいです。

[4組 山畑 陽世さん]

7月7日(火)に頭髪検査を行います。ご協力お願いいたします。

頭髪のルールを再確認します。

【男女共通】中学生らしく、学習に支障のない頭髪とする。特殊な加工や髪質に物理的・化学的に手を加えることは認めない。薬品やドライヤーなどを使って髪の色を変化・脱色させたり、ムース・ジェルなどで髪型を変化させてはいけない。眉毛の加工も禁止。

【男子】

前：眉毛に届かないように 横：耳にからないように
もみあげ：耳たぶより上 後：えりにかからないように

【女子】

前：目にかからないように 後：肩に届く場合はしる
※一つにしる場合は耳のラインより下で後ろでしる
ピン・ゴム・黒・紺・茶など華美でないもの
サイド：触角のようにたらしない



毎日行う15分間の掃除を一生懸命取り組んでいる人がたくさん目につきます。自分が楽しいと思うことに熱中できるのは当たり前。そうでないことにも少しは熱中できる。それを毎日できたらすごいことになるのではないかと思います。一生懸命掃除することで、自分が人間として磨かれる。そんな気がします。掃除は誇り(埃)を集める仕事です。